

研究結果報告書

否定量化表現「WHも」の機能語化について
－対応する中国語の構文との比較から－

所属： 北京語言大学 外国語学院 日本語学部
役職： 準教授
氏名： 贾 黎黎

不定語関連語句が否定文に用いられることによって全否定の意味を表す現象は、日本語にも中国語にも観察できる。しかし、日本語と中国語は形式上高い類似性があるためか、この現象をめぐる両言語の相違点を指摘した研究は管見の限り見当たらない。本研究は日中対照の観点から、不定語関連語句が全否定の意味を表す表現として最も典型的なものと考えられる「だれも～」と、その対訳である中国語の表現“谁也～”に注目し、両言語の相違点を考察した。また、両言語の相違点が個別言語としての日本語と中国語のどのような特徴を表したもののなのかについても分析を行った。

その結果、次のような知見が得られた。既知の対象が存在しない（その場にいらない）ことを表す場合、「だれも～」も“谁也～”も問題なく用いられるが、未知の対象が存在しない（その場にいらない）ことを表す場合、両者の間に大きな違いが出てくる。日本語では変わらず「だれも～」が用いられるのに対して、中国語では“谁也～”が用いられると非文になり、代わりに“没人～”構文が用いられる。これは日本語において最上位に位置づけられる総称名詞「ひと」の存在を直接否定できない現象などに関連付けて考えることができる。

また、日本語の「だれも～」構文は、中国語の“谁也～”構文と“没人～”構文がそれぞれ担っている機能を併せ持っているので、「だれも」の機能語化が進み、名詞化することになる。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

2013年8月22日 「なにも」的副词化
第五回日中対照言語学シンポジウム 福建師範大学
2014年2月6日 「没+V+什么(+N)構文の意味及びそのメカニズム」
麗澤大学言語学研究会 言語研究センター

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 「だれも～」句式的功能扩展探析—与汉语相应形式的对比 贾黎黎 杨凯荣 《外语教学与研究》第6期,2013年11月
2. “没V什么(N)”的量级修正及其形成机制 贾黎黎 《现代中国语研究》15期,2013年10月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)